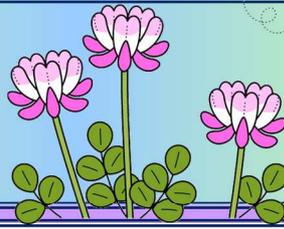


# 公民館だより5月号

大詫間の人口(令和5年3月末現在)  
1,434人 男 706人 女 728人 530世帯



## 発行/大詫間公民館

〒840-2211  
佐賀市川副町大字大詫間 560 番地 1  
電話・FAX 0952-45-4480  
Email koodakuma@city.saga.lg.jp

## 春の園芸教室

今年度から、園芸に関する講座を春・秋・冬の全3回シリーズで開催します。

ご自宅の庭づくりや地域の緑化に関心のある方、寄せ植えの実技を交えながら園芸の基礎を学んでみませんか？初めての方もお気軽にご参加ください。

- 日 時 5月18日(木) 10:30~12:00
- 場 所 大詫間公民館 大会議室
- 講 師 中川 達也先生(緑のカウンセラー)
- 材料費 1,000円(寄せ植え実費として)
- 所持品 軍手や手袋等を使用したい方はご持参ください
- 締切日 5月15日までにご連絡ください



## ふれあい農園地域還元祭

まちづくり協議会では、野菜や花の栽培をとおして、大詫間校区住民の交流と親睦を深めるため、ふれあい農園を開設し、活動を行っています。

今回、地域の皆さんに楽しんでいただくこと、収穫還元祭を計画しました。採れたての新玉ネギのスープやプレゼントを用意しています。皆さまのご来場をお待ちしています。

- 日 時 5月9日(火)10時~12時
- 場 所 大詫間公民館 大会議室
- 参加費 無料(数に限りがあります)



## 絆ウォーク写真展

- 期間 5月14日22時まで
- 場所 大詫間公民館小会議室

「絆ウォーク」の写真を展示しています。焼き増しもできます。皆さん見に来てくださいね！



## 5月予定表

※予定は変更・中止する場合があります

| 日             | 月                       | 火                                     | 水                                 | 木   | 金                    | 土                                  |
|---------------|-------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|---|----------------------|------------------------------------|
|               | 1<br>元気アップ教室            | 2<br>にこにこ運動教室<br>ブーカス号<br>14:00~14:50 | 3<br>【憲法記念日】                      | 4<br>【みどりの日】  | 5<br>【こどもの日】<br>健康麻雀 | 6<br><br>ブーカス号<br>15:10~16:00      |
| 7             | 8<br>元気アップ教室            | 9<br>にこにこ運動教室<br>ふれあい農園地域還元祭          | 10<br>GB愛好会<br>ももの会<br>まち協本部役員会   | 11<br>ときわ会<br>さつき会  | 12<br>健康麻雀<br>自治会長会  | 13<br>まち協総会<br>浮立保存会総会<br>大詫間小 PTA |
| 14            | 15<br>元気アップ教室<br>GG 役員会 | 16<br>にこにこ運動教室<br>校区社協役員会             | 17<br>GG 愛好会<br>ゆりの会<br>夢の島プロジェクト | 18<br>春の園芸教室<br>大詫間小 PTA  | 19<br>健康麻雀           | 20<br>大詫間食改協                       |
| 21<br>【休館日】   | 22<br>元気アップ教室           | 23<br>にこにこ運動教室<br>健康福祉部会<br>校区社協総会    | 24<br>つばき会                        | 25  | 26<br>健康麻雀           | 27                                 |
| 28<br>大詫間小運動会 | 29<br>元気アップ教室           | 30<br>にこにこ運動教室                        | 31<br>つばき会                        | <p>公民館の講座や地域の行事などをインターネットで見ることができます。「つながる大詫間」で検索するか、左のQRコードにアクセスしてください。</p> |                      |                                    |

第28回  
前編

## 私と大詫間

～大詫間への想い 思い出等について～

地域の方から大詫間への想いや  
小さい頃の思い出などを  
お寄せいただく『私と大詫間』  
シリーズです。

### 農業百年の歩み

私は、大正十一年五月一日、貧農家に生を享けました。当時は封建主義、軍国主義の激動の時代で庶民の格差は大きく大変な時代でした。農業は現在のように機械化されておらず、ほとんど手作業です。ある日、家にある農具を見て親父さんに「これは何ね？」と聞いたら、「センバ(千歯・千把こぎ)」といって稲の穂を人力で梳き落とす道具で、明治の頃まで使っていたとのこと、その後大正時代になると足踏み脱穀機が入り、踏み板を踏むと、こき胴が回転して簡単に脱穀することができるため、労力軽減に加え作業も格段にはかどったとのことでした。それでも、外での作業では、圃場の耕起は馬で犁馬我(すきまが)という農具を引っ張って行っていました。それ以外の作業のほとんどは手作業であると言ってくれました。

また、衣食住にしても貧民は麦飯を食えと言われる時代でした。私は昭和四年に小学校に入学しましたが、その間、昭和六年に満州事変、翌年七年には上海事変と激動の時代で、昭和十二年に卒業しました。同年七月七日に支那事変が勃発して、二十才以上現役世代を対象に召集令状が発令され、戦況は激烈化しました。昭和十六年十二月八日、米英に対し宣戦を布告し、再度国民皆兵令が敷かれ、五十才までの男子の殆どは軍隊に入隊することになり、銃後(※)は老人、女性、子供ばかり、特に女性が中心となって「欲しがりません勝つまでは」の合言葉で昼夜を分かたず食糧増産に精進し、十九年から二十年にかけて空襲警報下での苦労は言葉では言い尽くせません。

※ 銃後…戦場の後方。直接の戦闘に加わらないで、前線の背後にあってこれを支援すること。また、その一般国民及び国内をいう。

私は昭和十五年六月一日から五年三ヶ月間、海軍に在籍しました。北支第三遣支艦隊旗艦「警手」に乗艦し、陸戦隊として青島に上陸しました。昭和十七年六月五日に第二次世界大戦太平洋戦に突入し、日本天下分け目のミッドウェー戦では空母「加賀」に乗組参加し、撃沈されるも奇跡的に駆逐艦「萩風」に救助されました。他の空母三隻も撃沈、我が航空力は半減し、制空制海権はアメリカのものとなり敗北の糸口となりました。また、同年十月二十六日の南太平洋海戦に空母「瑞鳳」にて参加しましたが大破され、母港へ帰港しました。

後編へ続く



第28回目は…  
山口 三次 さん(10区)



センバ

足踏み脱穀機

## 館長コラム

惜春、春を惜しみ、終わりを告げる言葉、満開の桜も散って、すがすがしい新緑と太陽の光がまぶしい季節になりました。何となく慌ただしい日常に追われ、また齢の重ねもあって、季節の移ろいに鈍ってきましたが、それでも、自然界にちょっと目を向けると季節の確かな巡りに気づかされます。先日、佐賀市北部の道の駅で筍とわらびを買って、春の旬をいただきました。以前は、大詫間の春の旬といえばアサリ、貝は小さくても身は大きく柔らかくてプリプリ、かつてのように味わいたいものです。

コロナ5月8日から5類感染症に引き下げられ、感染しても仕事の制限や外出を控えるといった行動の制限もなくなります。マスクの着脱が個人の判断になってから1か月半が経過しましたが、まだまだマスクを着けている人は多いようです。ただ、マスクは花粉や黄砂対策として、手放せない人もあるかと思えます。黄砂は、初めはただの砂ですが、舞い上がって汚染物質や花粉とくっつき、はるか大陸から偏西風に乗って飛んできます。これを吸い込むと健康被害を引き起こすと云われ、洗濯物や車も汚れて大変です。他に飛んでくるものとして、近年はミサイルが飛んできます。渡り鳥ならまだしも、この先日本はどうなるのでしょうか。

新年度から1か月が経過しました。5月は、緊張や疲れが溜まり、特にゴールデンウィーク明けに身体の不調を引き起こしがちです。十分な睡眠と休息を心がけ、あまり頑張らず、うまく息抜きをして、ストレスを発散しましょう。